

 コンビニハウス 	編集/コンビニの会事務局 連絡先/〒452-0822 名古屋市西区中小田井 2-431 TEL/FAX(052)505-6082(コンビニハウス)
	障害をもつ人たちの地域生活を支援する 特定非営利活動法人 コンビニの会
	定価/150円 昭和54年8月1日第三種郵便物承認
	第127号



立梅用水下の田んぼで繰り上げられる綱引き

彦左衛門のあじさいまつり

カメラマン 安藤吉郎

六月に入ると各地であじさいまつりが催されるが、多気町のまつりに久しぶりに訪れてみた。三重県のほぼ中央部に位置し、伊勢路と紀州路の分岐点にもあたる。

多気町勢和地域で開かれるこの行事は「ふるさとの水と土に感謝して」と題して、用水事業や新田開発の先駆者、西村彦左衛門(江戸時代後期)の偉業を称え、里山の自然環境を大事に守っていくこうと地域ぐるみで始まった。

舞台となるのは清流、櫛田川から取水して山肌を縫うように流れる立梅(たちばい)用水浴い。あじさいの小径が田んぼへとつづいている。今年は少し咲き具合が遅れているように感じられる。中でも一番人気がなのが用水路のボート下り(無料)。途中の岩盤を削った素掘りのトンネルは子ども達の冒険心を大いに掻き立てる。

船頭役のボランティア中学生は、用水の歴史を語りながらボートを進めている。現在、用水路の大部分はコンクリートで覆われている為、休耕田のビオトープでホテイアオイやメダカなどの生き物が自然観察できる。

(次頁へ)

ここでは音楽のコンサートが始まっていた。夜には蛍が飛び交っているそうである。用水下の田んぼでは綱引き大会が行われ、泥だらけになった子ども達は大はしゃぎで用水で体を洗っている。

用水周辺には食材や特産品の出店が立ち並んで、「高校生レストラン」で話題になった相可高校食物調理科の手作り弁当や和菓子も人気ようだ。地域を元気にしている高校生の活躍は頼もしい。

立梅用水では小電力発電にも取り組んで、二年前には「世界かんがい施設遺産」に登録された。あじさいまつりには約一万人が訪れたという。あじさいいっぱい運動から始まった水土里(みどり)の地域資源保全・活用で都市住民との交流を深めている。



用水下りは子どもから大人も楽しめる

雑記 ごまめの歯ざしり

「十年間の出会い」

四月の末頃からだろうか、屋根裏でかさかさ音がするようになった。何か小動物が住みついている。もしかしてハクビシロン？ 困ったなあと思っていたら、五月の半ば、屋根の上について現れた！ 親猫と子猫四匹。子猫たちが元気に駆け回っている様子を見て、ここは猫たちにとって安全な場所なんだと見守ることにした。

木曾に引っ越してもうすぐ十年。屋根裏で出産して子育てをした猫は、これぞ三匹目である。おそらくここで生まれて親猫となつて又戻ってくるのだろう。一カ月程で旅立つってしまう小さなお客さんなのだ。

小さなお客さんと言えば、以前「小さなお客さま」というタイトルで原稿を書いたことがある。あの時紹介したK君は、自転車が好きで、我が家とは違う風を運んでくれた。今では就職して元気に働いている。

そして、もう一人。畳の匂いと感触が大好きなK君がいる。彼も幼い頃から我が家に来て来た。中学になると学校からの帰り道に必ず寄つて、たくさんおしゃべりをしてその後にはちょっと宿題をやつて帰つて行った。そんな彼も昨年の秋に自動車の免許をとつて、この春に就職をした。

たまたま彼らのおばあちゃんと知り合いだったのが縁で二人のK君たちと出会ったが、この十年間彼らなりのスピードで成長してきた。その姿を近くで見せてもらえたことが、何よりも嬉しい。もはや小さなお客さまとは呼べないが、ちょっと話がしたくなつたら又いつでも寄つてほしい。ここは君たちの安全基地だ！

(会報委員 上村 明美)



◇ 報告 ◇

前回の会報でお伝えした土地の登記手続きが無事に終わり、設計図面の作成が始まりました。5月の中旬に3通りの図面が出来上がりましたが、建設費などの条件を考慮して一つに絞り込みました。間取りや各部屋の面積などはこれから職員会議や仲間の会などで話し合いを重ねながら修正を加えて行くこととなります。

このような説明をすると、新しい施設の建設が施設整備金の対象になっているかのような印象を与えてしまいますが、現在のところ新施設の建設は私たちエゼル福祉会が行政に整備金のお願いをしているという段階で、施設の整備が公的な制度によって行われることが決定した訳ではありません。

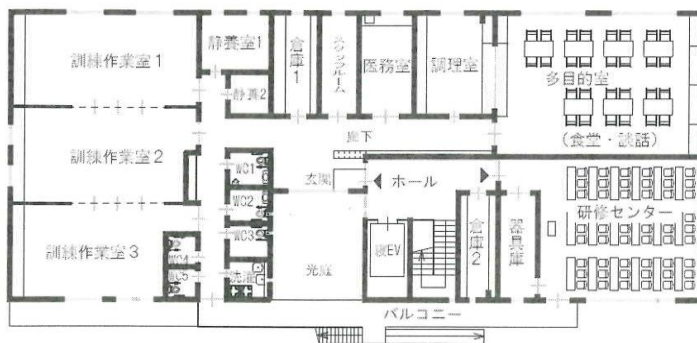
このページでは、新施設の設立に関するこれまでの活動をまとめましたので、図面と共にご覧いただきたいと思えます。これまでの活動の中で6月8日に開かれた新施設、設立委員会には、名古屋特別支援学校の親御さんを始め、障害のある我が子の為に自ら施設作りを担った経験のある方や、職員として施設

建設に関わられた方にも加わって頂き、深い話し合いができました。今回は設立委員の方々から記事を寄せて頂きました。その願いを皆さんと分かち合えれば嬉しく思います。

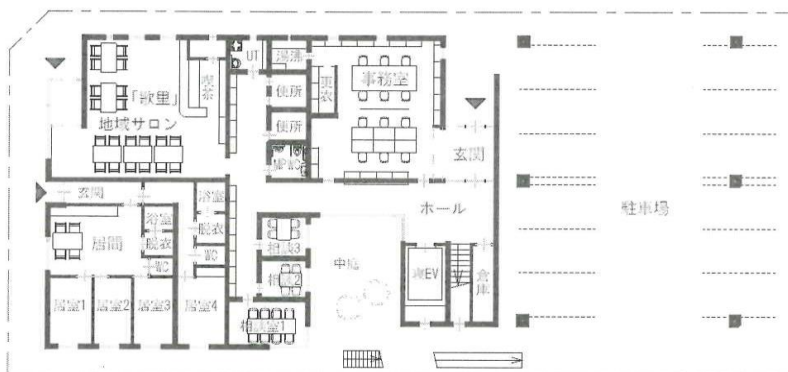


6月8日に開かれた 第1回 新施設、設立委員会 のようす

第2WILL(仮称) 施設設計図面



2階



1階

名古屋市に提出した協議書に添付した図面を掲載させていただきます。

まだ、大枠を表したもので、細かい間取りなどについては調整可能だと思います。

一階は、事務所と地域サロンとショートスタイルルームです。

駐車場を確保しなくてはなりませんので通所施設は二階に作ることになりました。

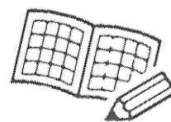
建築面積は609.4㎡、延床面積は1157.81㎡です。

◇ 活動報告と今後の予定 ◇

実施日	事柄	協議の相手
2017年3月10日	土地の確保	市財政局管財課
3月18日	土地取得の報告	評議員会
4月1日	常勤職員の採用1名	同朋大学 卒業生
4月6日	設計の依頼	加藤設計事務所
5月11日	常勤職員の採用1名	他からの転職
5月18日	パート職員採用1名	女性パート職員
5月19日	設計事務所契約	2回目の図面確認
5月19日	通所主任会議	図面の紹介と意見聴取
5月25日	通所全職員会議	〃
5月30日	理事会	新施設の状況報告と課題整理
6月8日	第1回設立委員会	親、役員、職員など8名参加
6月12日	特別支援学校見学	進路担当者(大川)
6月15日	名古屋市と協議	神谷、大川、高嶋、寺澤、野村
6月30日	協議書しめ切	名古屋市役所、施設事業係
7月1日～8月	市役所内部で協議	市役所 障害者支援課 施設事業係
11月	市議会ですら要求	市議会
2018年3月	名古屋市から国へ	国(厚労省)で協議、
6月	国で施設整備が決定	国→市→エゼルへ
8月	工事業者の入札	エゼル福祉会にて入札
9月	工事始まり	

今年の2月に名古屋市から払い下げられた土地の入札に参加してから、これまでの動きと、この先の予定をまとめました。

協議書の提出は既に終わりましたが、他の福祉団体からも施設整備の要望は上がっているとのことから、施設建設の願いが叶うか否かは晩秋の頃(11月)とのことです。



施設設立委員会に参加して
名古屋特別支援学校在校生の親

高嶋 みえ



私が、初めてエゼル福祉会の大川さんにお会いしたのは、三年ほど前だったのでしようか。名古屋特別支援学校でPTAの会長をしておりました頃にお話しをする機会がありました。現在の生徒たちの障害の重度化、卒業後の行き場所のなさ等を相談しながら、現在エゼル福祉会に通っている仲間たちの在学当時の話を聞かせてもらいました。子供の卒業後に通う場所を作るために母親たちがバザーなどの活動をして資金を作ったことなどを聞き、今の私たちの子供たちの生活がいかに良くなっているのかを実感しました。

その後、学校の実習で、エゼル福祉会の通所施設WILLのデイを体験させていただきました。私の息子は意思の疎通がうまくありませんし、初めての場所では緊張のせいが無表情になってしまいます。その息子が、実習初日の朝礼の時間には笑顔を見せているではありませんか。

職員さんは、うれしそうな笑顔を見せている息子の手を取り、ラジオ体操と一緒にしてくれました。そして、私に「この子たちは、本当に無限の可能性がありますよね！私たちがその力を見つけてあげたいんです」と話してくれました。息子の笑顔の詠が、この時はつきりとわかったのを覚えています。

障害のある子供たちへの思いと温かい笑顔に感動し、卒業後はお世話になりたいと思っておりました。しかし、現在のWILLは、建物の広散的に、「通所者の増員は可能なのだろうか？」と正直、不安に思っています。

した。そんな中、新しい第二のWILLを設立するお話があると聞き、同級生たちもみんな、とても喜んでいました。今回、設立委員会に、特別支援学校在校生の保護者も参加させていただき、職員の方々が、本当に子供たちの将来を考えて頂いている事を知ることができ、とても感謝しています。

そして、利用者さんの保護者の方々に、今までの苦勞話や、今から私たちがやらなければならない事を教えていただき、とても勉強になりました。

新しい施設は、たくさんの機能を備えた素晴らしい施設です。これから重度障害のある人達が利用しやすいように修正していただき、子供たちが安心して生活できる施設建設が実現できることを楽しみにしています。私たちが在校生の保護者も、夢の実現のお手伝いをさせていただきたいと思えます。皆さま、ご指導よろしくお願ひします。



願い事
WLL パソコングループ
塩澤しのか

私は10年間、生活介護型の通所施設「ウイル」に通っています。パソコンを使用して「ウイルタイムズ」と言う会報誌を作るのが日課ですが、指が動かせない私は、特別な装置を付けたパソコンを使って顎を動かしながら文章を打っています。

ウイルタイムズを作成するグループには、私と同じように脳性麻痺の障害をもった仲間を含め、全員で4人がいます。通所する曜日は人によって違うので、人数が少ない時は気になりませんが、全員が揃う日は奥行き4m、間口3m50cmの部屋に車椅子4台が入ると途端に部屋が狭くなってしまいます。車

椅子の動きが制限されて、お互いの顔を見て話することが難しくなります。そんな不便さを感じることはあっても諦めるしかなく、それ以上深く考えることは今までありませんでした。

しかし、新施設建設の話聞き、私が普段感じている施設の不便さを改めて考えるようになりまし。なぜなら新しい施設は、もっと過こしやすくしてほしいからです。

私は2014年の12月からワンルームマンションで一人暮らしを始めました。一人暮らしと言ってもヘルパーさんに介助をして貰いながらの自立生活ですが、大変な時があっても親元を離れて自分の暮らしを作ることが楽しくて、この暮らしがとても気に入っています。狭い部屋なのですが、安心感の一つは呼んだらすぐに気づいてくれるヘルパーさんが居てくれることです。

現在のウイルの休憩室にはベッドが一つあって、体を横たえて休憩することが出来ます。一日中車椅子に座りっぱなしの姿勢はやはりしんどいので、休憩室で休みたい人は多

いと思います。自分で自由に動ける仲間も居るので障害の種類によりませんが、呼べば誰かが来てくれる安心感私のような身体障害の人にとってはとても大きなものです。

私はこのように自分の願いを書いて皆さんに知って頂くことが出来ますが、言葉に出来ない気持ちを抱えてしまう仲間達は他にもいると思うし、そんな時、しっかりと休める広い休憩室があると良いと思います。またお手洗いの数が少ない為、順番待ちをよくすることがあります。若い頃には我慢したこと今は難しくなってきました。排泄を我慢しなくてもいいように通所者の数に見合ったお手洗いの数があると本当にいいと思います。

新しい施設が建設されるかもしれないと聞いて、今の不便さと「こうなると嬉しいな！」と、思うことを書かせて頂きました。

私達の願いが少しずつ形になっていくことを期待しています。



NPO法人 友の家

理事長 戸水 純江



障がいのある娘が今年47歳になりました。親として、ほぼ半世紀を娘とともに生きて来たことになりました。娘が幼かった頃は、障がいを持った我が子が、いわゆる健常者に近づく事だけを目標に、毎日、訓練、勉強と目を吊り上げて、育てていました。

リハビリ訓練、身体作りのプール通い、文字を覚えさせようと、積み木かるた等、ありとあらゆることを押し付けていました。良い医者が居ると聞けば、よその県にまで通い、医療で治らないかと必死でした。子供が健常者に、近づくと、障がい者として、この世に誕生させてしまった自分の罪滅ぼしになると、ずっと考えていました。

子どもが、養護学校(現在は特別支援学校)へ通うようになり、親の私がこの子を育てるのだと、頑なに思い込んでいた頃に、学校のPTAで学習会があり、講演会が開かれました。講師は、当時大府市愛光園で施設長としておられた廣瀬先生でした。私は、障がい者として、生んでしまった懺悔の気持ちから、なんとしても健常者に近づいてほしいのだけれど、どんな方法があるかと、今思えば本当に愚かな質問をしました。その時先生は、「なぜ普通の子供にしないでほしいのですか?そのままの娘さんで、良いのではないですか?あなたのする事は、これから生きていく環境と、娘さんに生きる力を、つけていく事ではないですか?」と答えられたのです。

今でこそそれは当たり前の事で、理解できますが、その時は、何を今までして来たのだろうか。力んでいた肩の力が、すんと抜け

た気がして、涙が止まりませんでした。今、エゼル福祉会が、大きな施設建設に取り組もうとしています。理事長の大川さんもかなり緊張されていると思います。

これは、仲間、家族、職員、関係者が、一丸となって取り組まないと、魂の入った施設にはなりません。

仲間が、自分で考え、自分で決定する事が出来ていくか。すべてにわたり、受け身でない姿勢が保たれること。

これは、職員、家族もそうです。この施設は、与えられるものであつてはならないと思います。自分たちが、質の高い支援を作り、運営・経営していくものです。その姿勢が、地域に根付き、地域を変えていくものと思います。立派な外観にふさわしい理念の伴った中身に、ぜひみんなできていきましょう。



重度訪問従業者養成研修 夏期講習が始まります

昨年度に引き続き、重度訪問従業者養成研修を8月22日より開催いたします。
全日程3日間で、介助ヘルパーの資格が取得できる、またとない機会です。

「福祉の職場をみてみたい!」「常勤職員はどんな風に働いているの?」そんな希望や疑問も、アルバイトヘルパーの活動を通して知ることができます。

将来障害福祉の現場で働くあなたの姿をイメージできる場です。

障害者介護の仕事を始めようと考えている方、経験を将来に活かしたいと思われている方に、受講をおすすめします。是非、福祉の現場をのぞいてみてください。



介護技術実習は、利用者さんの1日の流れに沿って演習実習を行います。

写真は、ベットメイキング（シーツ交換）、車いすの使い方の演習時のようすです。

2017年 重度訪問介護従業者養成研修

◇日程 講義/実習 全日程3日間

平成29年8月22日(火)・30日(水)・9月5日(火)の3日間

◇開催場所 社会福祉法人エゼル福祉会 研修室

◇受講料 10,000円

◇定員 15名(先着順、定員になり次第締め切らせていただきます。)

◇お申込み・お問い合わせ

下記、メールまたは電話にて受け付けいたします。事務局担当 岩崎

✉ convini@beach.ocn.ne.jp ☎・Fax052-505-6082

愛知県承認指定講座 事業所番号 愛障137号



《活動状況》

5月

- 7日 ヘルパー学習会
- 9日 馬主協会車両監査
- 10日 厚生労働省訪問 (榊原)
- 17日 あいされん相談支援交流会 (寺澤)
- 19日 加藤設計打ち合わせ
- 21日 愛障協学習会(大川・木村・久野・水野・坪内)
- 22日 会報発送
- 23日 第二種衛生管理者試験 (久野)
- 23日 自立支援連絡協議会全体会 (寺澤・有満)
- 25日 W I L L親の会
- 26日 法人事業・会計監査
- 28日 発達のしくみ講座 NPO あいち障害者センター
(水野・満田・浅野)
- 30日 自立支援連絡協議会相談支援部会 (寺澤)
- 30日 理事会



6月

- 1日 接遇・マナー研修 (北島・山下)
- 2日 会報会議
- 3・4・30日 喀痰吸引研修 (若林)
- 4日 ヘルパー学習会
- 10・17・24日 行動援護研修 (久野)
- 10日 全職員研修
- 12日 名古屋特別支援学校進路連絡会(大川)
- 13日 自立支援協議事業所部会 (有満)
- 14日 名古屋市実地指導
- 15日 タイムマネジメント研修(大川・榊原)
- 15日 くらしの場交流会 (渥美)
- 16日 ケースワーク会議
- 22日 W I L L親の会
- 21・28日 行動援護研修 (溝口)
- 24日 評議員会
- 27日 自立支援協議会相談支援部会 (寺澤)
- 30日 新任職員基礎研修
(北島・山下・曾我・満田)

購読料お振込みへの御礼

先号の会報購読料へのご協力に、早速たくさんの皆様からお振込みを頂きました。
7月7日現在で、85人の方から、振込金額合計520,500円の振込みがありました。
ことをご報告いたします。

2口以上を、振り込んでくださった方が多くいらしたことに深く感謝し、御礼を申し上げます。これからも、障害者福祉のみならず、様々な社会問題を提起し、多くの皆様にご購読いただけるよう、努力していく所存です。誠にありがとうございました。



事務局コーナー



「ご協力ありがとうございました」

5月～6月（敬称略・順不同）

★ ご寄付いただいた方々

(NPO 法人コンビニの会)

※会報購読料1万円以上お振込みの方

塩澤しのか 朝比奈幸生
 鈴木明恵 高橋勝也 富永典子
 中島温子 椰野友美 堀部裕子
 伊奈晶子 城所八重子
 S・I 匿名2名
 アイ
 トクメイ

★ 活動にご協力いただいた方々

(コンビニハウス)

大森 信 伊奈晶子 石原正寅 青木政治
 加藤 結 辻本道子 桑原諸彰 黒田隆広
 林 和子 高塚朱美 藤本菜見 堀 浩二
 曾我直子 大瀧宥乃 楠村ゆき 加藤志歩
 石原まち 田口陽介 加藤礼菜 奥村 修
 寺西 剛 土田京加 星野恭兵 進士陽介
 鷺見澄世 勝野観月 水谷友香 辻本有沙
 鬼頭優菜 藤本由紀子 辻本沙利菜
 寺田みどり 赤坂美登里 酒井まみ子
 三浦結梨恵

★ 物品寄付をいただいた方々

(コンビニハウス)

瀧 浩介 伊納尚男 桑原諸彰
 辻本道子 井上祐子

(WILL)

武部 文 須田たみ子

(WILL)

丹羽恵子 日比野照代 須田たみ子
 寺西 剛 坪内美紀 河田笑子
 早川佳乃 渡辺美佳 井上祐子

★ 会報発送ボランティア

佐藤美紀子 半田素子
 吉田嘉子 高松陽子



お菓子工房WILLの

夏ギフト

マドレーヌ
が期間限定
の復活!チーズタルトギフトセット
¥1200焼き菓子セット
¥600マドレーヌココロセット
¥700

特製にんじんジャム ¥500

お申込み期間

6/22 - 8/18
(木) (金)

商品受け渡し期間

7/1 - 8/30
(月) (金)

※ 8/11-8/15は夏季休暇の為、営業いたしておりません。

※ 都合により商品の掲載内容、デザインが変わることがありますのでご了承下さい。

障害のある仲間たちと手作りでお菓子を作っています♪

夏限定で、ただ今ギフトセットを販売しております。ご注文仲間一同お待ちしております。

社会福祉法人エゼル福祉会

FAX/TEL (052) 505-6089

お菓子工房 WILL

受付時間 10:00~17:00 ※土日祝日休み

銀行口座

三菱東京UFJ銀行 小田井支店 店番 238 (普) 口座番号 1440108

特定非営利活動法人 コンビニの会

郵便振替口座 番号 00800-2-35190 コンビニの会

ご意見・ご質問・お問い合わせは下記までお寄せください。〒452-0822 名古屋市西区中小田井 2-431

障害のある人たちの地域生活を支援する

特定非営利活動法人

コンビニハウス Tel (052) 502-7731

Fax (052) 505-6082

コンビニの会

理事 宮川 優子

URL <http://ezeru.sakura.ne.jp/>E-mail convini@beach.ocn.ne.jp